

# 総務部 目標

## 【概要】

総務部は、総務課・防災安全課・企画課・秘書広報課・財政課・資産経営課の6課で構成し、各部課の調整、統計、条例及び規則、職員に関する施策、防災、市勢振興の企画及び調査、秘書、広報及び広聴、予算、契約事務、経営改革、公共施設の再配置、市有財産の管理に関する施策に取り組んでいます。

<b>総務部の目標（令和元年度）</b>	<b>総務部長 白石 久雄</b> <b>総務部参与 前田 雅章</b>
<b>【基本方向】</b> まち・ひと・しごと創生総合戦略及び経営改革を着実に進め、「市民の皆さんが自信を持って次世代にバトンを渡せる富津市づくり」を目指します。業務の総合的な調整を行い、効率的で効果的な行政経営を推進します。	
<b>【達成すべき目標】</b> 1 経営改革の推進 経営改革プランに掲げた3項目の目標値について、目標水準を達成します。  2 次期総合戦略の策定 現総合戦略の評価をするとともに、次期総合戦略を策定します。  3 公共施設の再配置 市の全ての公共施設の再配置方針を示した公共施設再配置推進計画（素案）に係る市民説明会や市民アンケートを実施し、市民の意見を踏まえて、公共施設再配置推進計画を策定します。	<b>【目標の達成度】</b> 1 経営改革の推進 ・収支改善額 目標：収支見込み財源不足額の解消 実績：収支見込み財源不足額無し ・財政調整基金残高 目標：11億円以上 実績：20.9億円【令和元年度末見込】 ・臨時財政対策債を除く地方債残高 目標：83.7億円以下 実績：72.6億円【令和元年度末見込】  2 次期総合戦略の策定 前年度実施した市民アンケート及び市民委員会並びに創生会議における意見等を反映させ「第2期富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、3月に市HPで公表しました。  3 公共施設の再配置 市民説明会や市民アンケートを実施しましたが、公共施設再配置推進計画の策定には至りませんでした。

4 地域公共交通網形成計画事業の推進  
平成29年度に策定した地域公共交通網形成計画における本年度対象事業を着実に実施します。

5 業務継続計画の策定  
市庁舎が被災し、資源的制約下となっても一定の業務を適切に行えるよう業務継続計画を策定します。

4 公共交通網形成計画事業の推進  
地域、交通事業者などと連携を図り、地域公共交通会議で本年度事業概要を共有し、新規事業を始めとする計画事業を実施しました。

5 業務継続計画の策定  
台風第15号の災害対応が生じ、計画策定には至りませんでした。

# 総務課 目標

## 【概要】

総務課は、行政係・職員係の2係11名で構成し、議会、庁内各部課の調整、議案の取りまとめ、例規審査、各種統計調査、職員に関する各種施策等に取り組んでいます。

総務課の目標（令和元年度）	総務課長 石川 富博
<b>【基本方向】</b> <p>議会、庁内各部課との連絡調整、例規審査等を通じて、組織全体を取りまとめ、また、職員の定員管理や各種研修による人材育成、人事評価、福利厚生、健康管理等により、職員が持てる能力を発揮し、適正、効率的かつ効果的な業務執行を行うことができる職場環境をつくりまします。</p>	
<b>【達成すべき目標】</b> <ol style="list-style-type: none"><li>統計調査の円滑な実施 次年度の国勢調査に向けての準備と経済センサス基礎調査、全国家計構造調査の実査期間が重なり、業務多忙となるが、入念な事前準備、進行管理等により指定期日までに提出します。</li><li>職員人材育成基本方針の見直し 人材育成基本方針実施計画の計画期間が終了したことに伴い、基本方針自体の見直しを行います。</li><li>会計年度任用職員制度の例規等整備 令和2年4月の会計年度任用職員制度の施行に向けて、条例及び規則等の制定、改廃を行います。</li><li>人事評価の結果の給与等への反映 人事評価の結果を給与等に反映させるための制度設計を行います。</li><li>時間外勤務の縮減 行政係及び職員係について、事務配分、事務自体の見直しなどを積極的に行</li></ol>	<b>【目標の達成度】</b> <ol style="list-style-type: none"><li>統計調査の円滑な実施 調査時期に台風第15号等の災害が発生し、調査区内が被災したことにより調査員が調査できない状況にあったため、計画に遅れが生じたものの、国や県と情報を共有し計画の再調整を行うことで、期日までの提出をすることができました。</li><li>職員人材育成基本方針の見直し 昨年度作成した素案をさらに練り直し、行動計画を実施するなかで効果のあった事項については引き続き基本方針として取り入れる案に見直しを行いました。方針の策定・公表には至りませんでした。</li><li>会計年度任用職員制度の例規等整備 令和元年9月議会において条例が議決され、規則や関連例規も令和2年3月中に制定、改廃を行いました。</li><li>人事評価の結果の給与等への反映 人事評価の結果を勤勉手当等に反映させるための制度設計やシステム整備を行いました。</li><li>時間外勤務の縮減 行政係及び職員係ともに、年度中を通して事務改善と分掌見直しを行うとともに</li></ol>

い、各係とも年間の1人当たりの平均時間外勤務時間を対前年度比の5%削減を目指します。

に、各職員の月ごとの一覧表を作成し「見える化」を図ったことにより、対前年度比の約25%削減することができました。

# 防災安全課 目標

## 【概要】

防災安全課は、防災安全係1係4名で構成し、市民の安全、安心な生活を確保するために防災・減災、交通安全、防犯施策に取り組んでいます。

防災安全課の目標（令和元年度）	防災安全課長 小野田 隆博
<b>【基本方向】</b> 市民の防災意識の高揚とともに地域防災力の向上を図り、災害に強いまちづくりを推進します。また市民の交通安全・防犯意識の高揚を図り、安全・安心なまちづくりを推進します。	
<b>【達成すべき目標】</b> 1 業務継続計画の策定 大規模災害発生時に、市庁舎・職員も被災し、資源的制約下となっても応急復旧等の災害対応業務が適切に行えるよう業務継続計画を策定します。  2 自主防災組織率の向上 組織率100%に向け、広報ふつつ、ホームページや出前講座の機会を利用して市民に周知し、防災意識の向上を図り、「自助・共助」の重要性、自主防災組織の必要性を伝え、62.6%（67団体）から67.3%（72団体）の設立を目指します。  3 富津市地域防災計画の見直し 近年発生している地震災害、土砂災害や風水害などを踏まえ、また千葉県地域防災計画との整合を図りながら、本市に合った、災害時に迅速な対応ができるものとなるよう見直します。  4 犯罪のない地域社会のための環境整備 犯罪抑止を目的として「防犯カメラ」を設置します。設置場所は、学校、地域、警察と協議して決定します。	<b>【目標の達成度】</b> 1 業務継続計画の策定 台風第15号の災害対応が生じ、計画策定には至りませんでした。  2 自主防災組織率の向上 広報紙、ホームページや出前講座で地域防災力の重要性を周知したほか、区長を対象とした自主防災実務者講習会を兼ねた災害対策コーディネーター養成講座を実施するなど自主防災組織の必要性を図った結果、6団体が設立され、68.2%（73団体）となり、目標を上回りました。  3 富津市地域防災計画の見直し 直営での見直しを行っていたが、台風第15号の災害対応が生じ、見直しに至りませんでした。  4 犯罪のない地域社会のための環境整備 学校、警察と協議した結果、過去に不審者情報があった小学校通学路に設置し、10月1日から運用を開始しました。

# 企画課 目標

## 【概要】

企画課は、企画係・公共交通係の2係8名で構成し、総合戦略の着実な実行、ふるさとふつつ応援寄附、地域公共交通網形成計画事業の推進に取り組んでいます。

企画課の目標（令和元年度）	企画課長 坂本 秀則
<b>【基本方向】</b> <p>市民とともに創り上げたまち・ひと・しごと創生総合戦略を着実に実行するため、市民と行政が一体となってPDCAを進めるとともに、次期総合戦略の策定に取り組めます。また、市民の移動手段を確保し、生活利便性の維持向上を図るため、平成29年度に策定した地域公共交通網形成計画事業を推進します。</p>	
<b>【達成すべき目標】</b> <ol style="list-style-type: none"><li>次期総合戦略の策定 現総合戦略の評価をするとともに、平成30年度に実施した市民アンケート及び市民委員会並びに創生会議における意見を反映させながら、次期総合戦略を策定します。</li><li>地域公共交通網形成計画事業の推進 地域公共交通会議で今年度の事業概要を共有し、地域、交通事業者及びその他関係者と連携を図りながら、対象事業を着実に実行します。</li><li>ふるさとふつつ応援寄附 5億円達成に向けて、効果的なプロモーション策を実施するほか、事業者会議等により事業者自立に向けた情報共有化を進めていきます。</li></ol>	<b>【目標の達成度】</b> <ol style="list-style-type: none"><li>次期総合戦略の策定 前年度実施した市民アンケート及び市民委員会並びに創生会議における意見を反映させ「第2期富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、3月に市HPで公表しました。</li><li>地域公共交通網形成計画事業の推進 地域、交通事業者などと連携を図り、地域公共交通会議で本年度事業概要を共有し、新規事業を始めとする計画事業を実施しました。あわせて、PDCAサイクルによる事業評価を実施しました。</li><li>ふるさとふつつ応援寄附 5億円達成に向けて、新規返礼品の開発、イベント参加、WEB広告の活用、ポータルサイトが実施した災害支援寄附フォーラムの活用、使途公表等によるプロモーション策を実施するとともに、事業者会議の開催等による情報共有化を進め、事業者自立に向けて取り組みました。</li></ol>

# 秘書広報課 目標

## 【概要】

秘書広報課は、秘書広報係1係5名で構成し、市長・副市長の秘書、渉外業務、儀式関係、広報ふっつの発行、ホームページ等の管理など情報発信を担っています。

秘書広報課の目標（令和元年度）	秘書広報課長 鹿島 和博
<b>【基本方向】</b> 市長・副市長の効率的なスケジュール等の管理を行うと共に、様々な方法で地域の魅力を発信すること及び市民からの意見等への速やかな対応のため、担当課とのスムーズな連絡調整を行います。市民便利帳を令和元年7月に発行し、世帯配布を行います。	
<b>【達成すべき目標】</b> 1 市長・副市長のスケジュール等の効率的な管理 行事の詳細の把握などを行い、より効率的な行事への対応やスケジュール管理を実施します。  2 ふっつのいいこと発信事業 地域に残る様々な行事などを、より興味を引くような形で発信することに努めるとともに、各課にも協力をしてもらい、今以上に積極的な情報発信を行います。  3 市民からの意見に対する速やかな対応 意見に対する速やかな回答ができるよう各課との連絡調整を密にします。  4 市民便利帳の作成 市民の日常生活において必要な情報を1冊にまとめ、暮らしの手引き、地域等で行う活動の情報誌とします。 (官民協働事業)	<b>【目標の達成度】</b> 1 市長・副市長のスケジュール等の効率的な管理 スケジュール管理をするうえで、過去の出席状況等を確認する様式を作成し運用しました。この様式に書かれたものを記録することにより、よりスケジュール管理が容易になりました。  2 ふっつのいいこと発信事業 例年行われている行事の発信とともに、地域に根づくいくつかの催しについて情報発信を行いました。 災害時には、支援情報等を発信しました。  3 市民からの意見に対する速やかな対応 災害に起因する要望等、例年より要望事項等が多岐にわたるとともに、件数も多くなりましたが、期限内に回答等が行えました。  4 市民便利帳の作成 誤字や脱字、記載内容の不備等の問題もなく、予定通り、7月に各戸配布を終了しました。

# 財政課 目標

## 【概要】

財政課は、財政係、契約検査係の2係10名で構成し、予算編成、地方交付税、市債、経営改革、契約・検査等にかかる事務を行っています。

財政課の目標（令和元年度）	財政課長 高梨 正之
<b>【基本方向】</b> 将来にわたり持続可能な行財政経営の実現に向け、経営改革を着実に推進していきます。また、契約事務の適正な執行、厳格な工事検査を実施します。	
<b>【達成すべき目標】</b> 1 経営改革の推進 経営改革プランに掲げた3項目の目標値について、目標水準を達成します。  2 中期財政計画の見直し 富津市健全な財政運営に関する条例に基づく中期財政計画を、最新の情報により見直しを行い公表します。  3 事業シート活用の推進 PDCAサイクルを効果的に行えるよう事業シートの活用を推進します。	<b>【目標の達成度】</b> 1 経営改革の推進 ・収支改善額 目標：収支見込み財源不足額の解消 実績：収支見込み財源不足額無し ・財政調整基金残高 目標：11億円以上 実績：20.9億円【令和元年度末見込】 ・臨時財政対策債を除く地方債残高 目標：83.7億円以下 実績：72.6億円【令和元年度末見込】  2 中期財政計画の見直し 令和元年9月に中期財政計画を策定し、今後5年間の収支均衡と令和6年度末における財務指標の目標、上限値を設定しました。 ・財政調整基金残高目標額 22億円（標準財政規模の20%） ・地方債発行上限額 180億円（標準財政規模の160.7%）  3 事業シート活用の推進 予算決算資料に事業シートを活用したほか、決算公表に併せて全ての事業シートをホームページで公表しました。また、事業シート公表に向け、全シートを点検し、担当課の事業効果検証に対する助言を行いました。



# 資産経営課 目標

## 【概要】

資産経営課は、資産経営係、資産管理係の2係9名で構成し、公共施設の再配置、市が所有する財産の管理・処分、ITを活用した業務担当課支援に取り組んでいます。

資産経営課の目標（令和元年度）	資産経営課長 秋嶋 隼人
<b>【基本方向】</b> 次世代への負担をできる限り軽減するため、公共施設マネジメントを推進し、公有財産の適正な管理と活用を図ります。また、市民に質の高いサービスを提供するために、ITを活用した業務担当課の支援を実施します。	
<b>【達成すべき目標】</b> 1 公共施設の再配置 市の全ての公共施設の再配置方針を示した公共施設再配置推進計画（素案）に係る市民説明会や市民アンケートを実施し、市民の意見を踏まえて、公共施設再配置推進計画を策定します。  2 未利用財産の処分・有効活用 旧環南小学校及び令和元年度末で閉校となる学校の処分・有効活用方針を定めます。  3 庁舎中長期保全計画の策定 老朽化が目立ってきた市役所本庁舎の機能を損なうことなく、効率的かつ効果的に維持管理していくため、庁舎中長期保全計画を策定します。	<b>【目標の達成度】</b> 1 公共施設の再配置 市民説明会や市民アンケートを実施しましたが、公共施設再配置推進計画の策定には至りませんでした。  2 未利用財産の処分・有効活用 令和元年度末で閉校となる学校の処分・有効活用に向けた取組として、令和2年3月に地域の意見を聴くために金谷小学校においてワークショップ説明会を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため延期となりました。  3 庁舎中長期保全計画の策定 庁舎中長期保全計画を策定しました。本計画により、庁舎の効率的かつ効果的な維持管理に努めてまいります。